

宝石命名法に対して…結びに

「ピジョンブラッド」「ロイヤルブルー」と言った色の表記がされた鑑別書を手にする消費者の方々は、(a)「ピジョンブラッド」「ロイヤルブルー」は品質の表記である、(b)業界の規格として認められている、と誤っていらっしゃると思います。

しかし、業界ではこれら表記の相互理解または意思統一はされておらず、各鑑別機関は独自の基準の下に判断をしています。

ゆえに、業界内ではそのような宝石の販促強化の一環となるような表記を鑑別書上に求め、鑑別書なくしては価値と美しさを反映させた公正なプライシングができないことさえも起きるようになりました。

重ね重ね申し上げますが、この判断基準の正否はつけがたく、曖昧であるのですが、このまま放っておかず、解決または改善への糸口を掴む努力は惜しまずにするべきでしょう。

その一つとして、日本宝石協会は 7 月 20 日にこの重要な案件を議題とするシンポジウムを開催いたします。当日は、現在、国内および国際的に宝石の表記および呼称がどのような観点で捉えられているかプレゼンテーションを通し説明いたします。多数のサンプル石も用意いたしますので、実感による納得も得られるでしょう。また、意見交換の時間も十分に用意しました。業界を横断的にお集まり頂く多くの参加者の皆様の幅広い見解とご意見を交わしましょう。

見逃せられない機会です。一人でも多くの方にご参加頂き、貴重なご意見を頂けますようお願い申し上げます。

一般社団法人 日本宝石協会
副理事長 ニーラム・アラウディーン

2016 年 7 月